

# ☆ 北 一 本 木 自 治 会 ☆



北一本木自治会は、八幡平市、盛岡市玉山区と接し滝沢村の最北端に位置し自然環境に恵まれた地域であります。また、地域内には岩手駐屯地と自衛隊演習地を有するほか南北に5キロメートルと広範囲な自治会ではありますが、戸数が約210世帯と村内でも小規模の自治会であります。地域内は、大川・東門・しゃくなげ・商店街・南北正門地域に区分され、それぞれの地区では活発に活動を実施しております。また、地域内には昨年度新設された大川コミュニティセンターと東門公民館の2施設があり、昨年10月から実施した「いきいきサロン」や地域行事等の活動拠点としている。

自治会の基本方針は、地区内自治会の育成強化・青少年の健全育成・あかるい挨拶運動・地区内の清掃活動・健康作り運動・小さな親切運動・先進地への視察・各種大会行事等への協賛・一本木まちづくり事業への協力実施の9項目を基本とし事業取り組んでいます。自治会組織は、交通防犯部・環境保全部・保健体育部・文化教養部4つの専門部会から構成されそれぞれの活動を実施しています。隣接自治会との共同開催事業は、世代間交流を目的とした一本木地区大運動会や伝統行事を継承する一本木秋祭り行事、まちづくり委員会の地区内通学路等の環境整備作業、北部コミセン祭り等を実施し交流を深めております。

自主防災組織は、平成21年4月に立ち上げましたが、現在のところ火災予防活動に限定した訓練を実施しています。今後における訓練は、東日本大震災発生時における被害状況等を見るにつけ、大規模災害(地震・火山活動)を想定した訓練等の計画実施に着手するよう取り組んでまいります。まだまだ地域防災計画は、運営機能上(連絡・避難場所等)の課題も多く、今後において検討を重ね地域に定着した自主防災組織の確立を目指したいと考えております。また、東日本大震災の発生時には、自治会・民生委員・ゆいづくり委員と連携を図り、地域内の災害時要援護者の安否確認をすみやかに実施し、村および消防関係機関との情報の共有を図りました。

現在自治会が抱えておる環境問題は、鶯エスピーエフセンターの悪臭改善である。村では、定期的に公害防止協定に基づき悪臭改善取り組み等について、現地調査を実施しているところではあるが目に見えた改善が見受けられず、今後とも住民が一丸となり悪臭の改善を強く要望し、悪臭の解消に取り組んでまいります。

当自治会は、高齢化が進んできてはおりますが滝沢村の最北端自治会として、それぞれの年齢層が知恵を出し合い住民一致団結して住みよい地域づくりを目指します。